

ナルトみかん収穫体験

淡路市の農家で
神戸の消費者ら 味や香りに感激

県内の名産品を販売する神戸市内の物産店「ひょうごふるさと館」の会員消費者約40人がこのほど、淡路市志筑の農家岡野佳一さん(63)宅を訪れ、タマネギのつり小屋見学やナルトみかんの収穫を体験した。

ふるさと館を運営する県物産協会が毎年、生産現場の見学会などを実施している。岡野さんはタマネギなどを生産。特に、「兵庫県認証食品」の認定を実現させるなど、減産傾向にあるナルトみかんの普及活動を積極的に推進している。

最初に消費者たちはタマネギ小屋を見学。岡野さんが「7〜8月、日光

に当てながらつると、甘みが増しておいしくなる」と説明すると、見学者たちは「タマネギを束ねるのが難しい。つるコツを教えて」などと熱心に質問していた。

近くのみかん山では、見学者たちは青丈ほどの木の枝に腕を伸ばして収穫。その場で食べた人たちには「甘酸っぱい香りが

ナルトみかんの収穫を楽しむ見学者たち
|| 淡路市内

汁が多くてびっくりした」と話していた。
(西尾和高)

